

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

昨年、世界情勢がこれまでの軌道から逸れ、新たな軌道へ転換する兆しの年となった。それは、イギリスのEUからの離脱であり、大方の予想に反してアメリカ大統領にトランプ氏が当選したことである。いずれもグローバルイズムの修正を求め、自国ファーストへの内向きな動きに起因するものだ。

そして、我が国では熊本地震など、自然災害が日本列島を襲った。自然も人間の営みも大きな変動の時期に入ったような気運が立ちこめ、好むと好まざるとにかかわらず、私たちは変化や変動を余儀なくされている。

それから、今年に入って突然降って湧いたように出てきた話題が、「七十五歳以上高齢者説」である。日本老年学会は、日本人の平均寿命や健康年齢などから人間は物理学的に五く十歳若返っているとの調査・研究の下に、六十五歳〜七十四歳までを准高齢者、七十五歳〜八十九歳までを高齢者、九十歳以上を超高齢者とする提言を行っている。

そのことは、純粹に医学的見地によるものとし、政策的な枠組みへの影響は否定しているものの、社会保障制度の財源削減への口実にも繋がりがねないことは大いに懸念される。

六十五歳、七十歳になっても元気に働ける人は、この人手不足の折に貴重な社会資源だし、ボランティアなどの社会活動も積極的に参加してもらいたい。しかし、一方において、老後の貧困や要介護等による支援が必要な人には、「原則六十五歳」とする公的年金の受給年齢を引き上げることにでもなればとんでもない話である。

今、色々な枠組みが変動しようとしているなかで、逆に根本に立ち返ってみることも変化に対応する智慧だと思ふ。その一つに「老人」がある。「老熟」「老練」それから「老獪」もふくめて、私たちは今一度、老いていくことの根源的意味を考へる時期にあるような気がする。それは、生産性や実績、機能などを重視するこれまでの成長拡大の価値観のパラダイム変換を示唆ことになるかもしれない。なぜなら、私たちは誰もが老いて死する定めにあるからだ。(富永健)

賀年
謹新

新年祝い、利用者の皆さんの健康を祈願

特別養護老人ホーム緑樹苑

平成29年を迎えた元日、特別養護老人ホーム緑樹苑では新年会を開催した。司会の挨拶から始まり、浜川施設長・兼城副施設長による寿の謡いとして『王府おもろ』を披露。そのあと浜川施設長が新年の挨拶を述べた。

次に、職員による演舞で『かぎやで風』『四つ竹』が披露され、華やかな踊りに入居者の皆さんは見入っていた。中には感動し涙を流す方もいた。

続いて、入居者を代表して西年生まれの湧田舎樽さんが乾杯の挨拶をし、厳かな正月を祝い楽しんだ。その後、正月の歌『一月一日』を入居者、職員全員で合唱し、最後にカチャシーで新年会の幕を閉じた。(仲宗根亮)



ケアハウスはいびすかす

1月1日(日)、ケアハウスはいびすかすの年頭挨拶式が行われた。

職員全員が参加する中、金城施設長より年頭の挨拶が行われた。

余興では、島袋介護員、崎山事務員による『かぎやで風』のほか、宮城課長、山城課長による王府おもろ『あおりやへがふし』が披露された。乾杯の挨拶では利用者の伊波孫一さんが元気に「乾杯！」を発声し、皆さんコップを高々と掲げた。

次に、参加者全員で『一月一日』を合唱し、カチャシーで新年を祝した。

閉会の挨拶では「今年も利用者の皆様が安全にそして健康に過ごせるよう、職員一同精いっぱい努めますので、今年一年も楽しく過ごしましょう。」と締めくくりに年頭挨拶式を終えた。

閉会后、利用者の宜志トミさんは「今日はとても楽しかった。病気も飛んでいくぐらい元気になれました。」と語っていた。(祝嶺賢宅)



竹とんぼ

2017年 新年祝賀会を開催

ケアハウスでいんさぐぬ花

竹とんぼ

1月1日(日)元旦、ケアハウスでいんさぐぬ花では、元旦おとそ会を開催した。奥古田施設長の新年の挨拶では、川上昌子係長と仲松節子介護員による『かぎやで風』が披露された。施設長から、利用者を代表して三名の方に、健康長寿を願い、おとそにみたてたカルピスで祝杯を上げた。その後、今年も元気で楽しく過ごせるように、乾杯した。『一月一日』の歌を元気に合唱するなど、元日のひとときを穏やかに過ごした。今年もいい年になりますように……。(照屋利恵子)



緑樹苑デイサービスセンター

1月4日(水)、緑樹苑デイサービスセンターでは、新年お茶会を開催した。

金城洋子理事長からの挨拶で始まり、小渡係長の乾杯の音頭で会は盛り上がった。幕開けでは、綺麗な琉装を身にまとった職員(仲松節子さん)による『かぎやで風』が披露された。デイ職員による余興の『マミドーマ』では、利用者の皆さんが笑顔を見せ、正月初笑いとなった。そのほかの舞踊『取奉行』にも利用者の皆さんから大拍手が送られた。

最後は民謡ショーからカチャシーとなり、楽しい新年会となった。(清水寿二)



みどり学童クラブ 冬休み♪



学校が冬休みに入り、みどりの学童クラブでは、12月24日(土)に、子ども達が待ちに待ったクリスマスパーティーを行いました。中には可愛いクリスマス弁当を持ってきている子どももいて、期待度がうかがえます。

さあ、サンタの衣装に着替えてパーティースタート！ミニゲームでは男の子と女の子に別れてイス取りゲーム。どちらも最後まで白熱していました。続いてみんな大好きピンゴゲーム！誰が最初にピンゴになるか、進行役の子と達達の声聞き逃さないようにしています。そしてパーティーの主役クリスマスケーキ&シャンパン登場！今回はトッピングにたくさんのお菓子を準備して、オリジナルのてんこ盛りケーキを作っていました。

最後にはみんなへくクリスマスプレゼント！中身は何だろう？男の子は中に入っていたおもちやに大はしゃぎで遊んでいました。



くすついた天気も多かったのですが、園外活動も行いました。雨が降っているにも関わらず、「今日、公園行くよねっ」と聞いてきます(笑)

特別おやつメニューでたこ焼きパーティーもおこないました。子ども達も頑張って上手に焼けるか挑戦！

年明けも元気な顔を見せてくれた子ども達。お正月の間も学童へ来るのを楽しみにしていたという声も聞かれました。今年一年も、今いる子ども達と一緒に楽しい一年にしていきたいとおもいます。(野崎太郎)



私が緑樹苑に入ってから5ヶ月が過ぎました。あつという間に過ぎていきましたが、ようやく入居者の皆さんのそれぞれの支援の仕方も、少しずつですが、わかってきました。

福祉関係の仕事に就いてからは6年目になりますが、今までの経験を十分に活かして、入居者の皆さんがよりよい生活を送れるよう、これからもがんばっていききたいと思えます。



特別養護老人ホーム緑樹苑 介護員 池根一也

シリーズ 職員エッセイ

クリスマス & 忘年会

介護老人福祉施設緑樹苑では12月22日(木)、クリスマス忘年会が行われた。

最初に浜川通施設長のあいさつから始まり、全員で『赤鼻のトナカイ』『きよしこの夜』を合唱した。次に利用者者を代表して新崎秀子さんが乾杯の音頭をとった。

余興では、職員がカマド体操を披露し会場を盛り上げた。皆さん笑顔で楽しんでいた。次に獅子舞を披露し、獅子の口の中に頭を入れたり、頭を撫でたりして大変喜んでいました。

その後、クリスマスプレゼントが皆さんに手渡され、最後はカチャシーで締めくくった。(諸見里寿子)



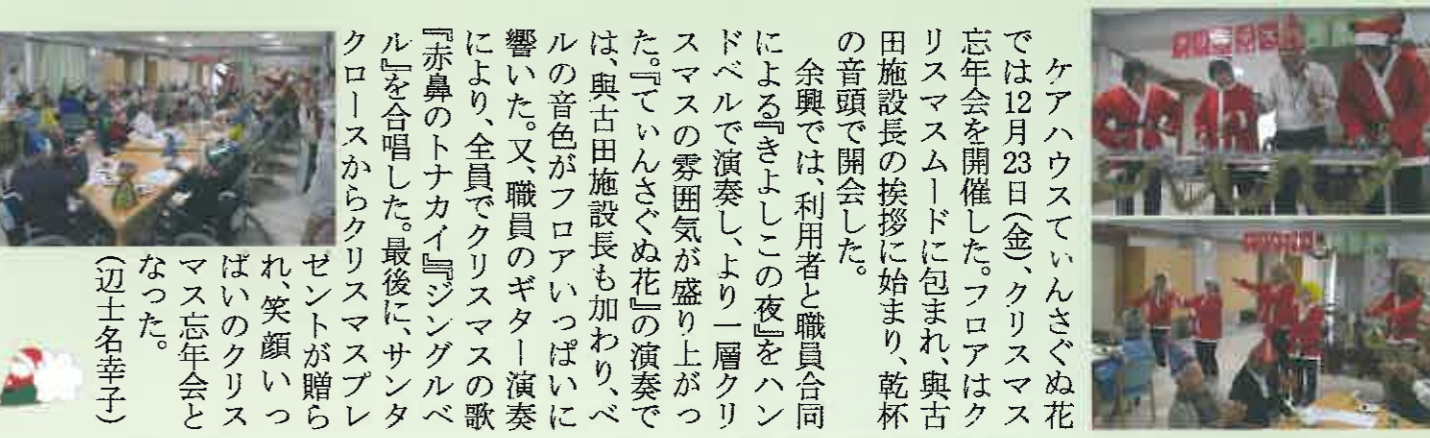
緑樹苑デイサービスセンターでは12月22日(木)・23日(金)にクリスマス忘年会が開催された。職員による余興では地域支援センター職員による今話題の「恋ダンス」が披露され、普段の仕事姿とのギャップを利用者の皆さんも大笑いし喜んでいました。デイサービス職員による「クレイジーカチャシー」では、皆さんお腹を抱えて笑っていた。

最後には、今年一年を無事過ごせた事を祝い、皆でカチャシーで盛り上がり、笑顔の絶えないクリスマス忘年会となった。(津嘉山聖羅)

12月22日(木)はいびすかず忘年会が行われた。金城和郎施設長は「今年もクリスマスを迎える時期になりました。全員の皆さんで楽しく過ごしましょう。」と挨拶した。利用者の楚南ヒデさんの音頭で乾杯が行われ、皆さんでケーキを頂いた。

余興では、信清典子介護員が脚本から小道具、監督まで担当した寸劇「水戸黄門」を職員が熱演し、その演技に会場からは笑い拍手が起った。利用者からは「とても上手だったよ。」と好評であった。

次にクリスマスソングを全員で歌い、最後に利用者の皆さんに、お楽しみクリスマスプレゼントが贈られ、「中身は何かなあ」と期待しながら、喜びの笑顔が会場をさらに和やかにした。(新里瑞歩)



ケアハウスでいんさぐぬ花では12月23日(金)、クリスマス忘年会を開催した。フロアはクリスマスモードに包まれ、與古田施設長の挨拶に始まり、乾杯の音頭で開会した。

余興では、利用者で職員合同による『きよしこの夜』をハンドベルで演奏し、より一層クリスマスソングの雰囲気盛り上がった。『ていんさぐぬ花』の演奏では、與古田施設長も加わり、ベルの音色がフロアいっぱい響いた。又、職員のギター演奏により、全員でクリスマスソング『赤鼻のトナカイ』『シングルベル』を合唱した。最後に、サンタクロースからクリスマスプレゼントが贈られ、笑顔いっぱいクリスマス忘年会となった。(辺士名幸子)

第五回

国際 ひやみかち節 コンクール

平成二十九年四月十六日

出場者募集中!! 大賞賞金10万円

年齢、性別、プロ・アマ、ジャンル・・・不問。

本選
平成29年4月16日(日)
開演: 午後3時
沖縄市民小劇場あしびなー
入場券 1,000円

応募締切
平成29年3月24日(必着)

主催 社会福祉法人緑樹会
特別協賛 コザ信用金庫、株式会社仲本工業、株式会社カウチ
後援 株式会社琉球建設、株式会社琉球タイムス社、株式会社琉球観光、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、琉球テレビ放送株式会社、NHK沖縄放送局、株式会社エフエム沖縄、株式会社FMコザ、株式会社ラジオ沖縄、琉球国民協賛会、有限会社キャンパス、山内盛形伝承堂保存会、ライブハウスモッズ、社会福祉法人緑樹会後援会
協力 沖縄市文化協会、沖縄市社会福祉協議会、沖縄市教育委員会

DESIGNED BANANA CREAM

後援会新年会を開催 新年を祝い、会員の親睦を深める

後援会事務局だよ!

緑樹会后援会新年会が1月12日(木)、ケアハウスでいんさぐぬ花で開催された。平日の夕方開催にも関わらず、後援会員をはじめ、家族会、取引先関係者、緑樹会職員など多くの方が参加した。

はじめの奥座達男後援会会長と金城洋子緑樹会理事長のあいさつでは、日頃からの緑樹会及び職員への支援等の後援会活動に対する後援会会員の皆様のご理解・ご協力への感謝の言葉が述べられた。ケアハウスでいんさぐぬ花の奥古田施設長による乾杯の発声のあと食事などを楽しみながら参加者はお互いの親交を深めた。

新年会は、幕開けの『かぎやで風』、緑樹会職員によるバンド演奏等の余興で盛り上がった。お楽しみビンゴ大会では、三十三社の企業(下記参照)にご協力を頂いた景品の獲得に皆さん真剣な表情ながらも楽しんで参加し、和やかな雰囲気にも包まれた。

新年会の最後は緑樹会の行事では恒例の比嘉マチ子先生による三線演奏に続き、宮永健緑樹会常務による閉会のあいさつで幕を閉じた。(奥座嘉一郎)

素敵な景品のご提供により、後援会新年会を盛り上げていただきました企業の皆様、この場をお借りしまして感謝申し上げます。
(後援会事務局)



ご協賛いただいた、抽選会での豪華な景品 後援会の奥座達男会長によるあいさつ 後援会員、家族会など、約90名の方が参加した。



余興では、職員によるかぎやで風やバンド演奏が披露された。 新年会に華を添えた比嘉マチ子先生 最後はカチャーシーで盛り上がった。 調理師免許を取得した山内真喜子調理員に金城理事長から報奨金が手渡された。

- 医療法人卯の会 あらた舎 様
- 沖縄銀行コザ支店 様
- 沖縄県医療廃棄物事業協同組合 様
- 沖縄森永乳業株式会社 様
- 沖縄明治乳業株式会社 様
- 沖縄綿久寝具株式会社 様
- 株式会社亜土消毒 様
- 株式会社イバノ 様
- 株式会社エノビ防災技研 様
- 株式会社カナダ物産 様
- 株式会社建築設計同人匠才庵 様
- 株式会社大門商事 様
- 株式会社つねひで産業 様
- 株式会社ナカソネ電省 様
- 株式会社仲本工業 様
- 株式会社フジマック 様
- 株式会社りゅうせき 様
- 業務スーパー泡瀬店 様
- コザ信用金庫安慶田支店 様
- サトウ株式会社 様
- 創草 様
- 知念製麺所 様
- とけし商事株式会社 様
- 光電気工事株式会社 様
- ピーエムエス 様
- 屋宜建設工業 様
- 有限会社沖縄総合フーズ 様
- 有限会社シンリュウ石油 様
- 有限会社双葉食品 様
- 琉球銀行コザ支店 様

景品提供に快くご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

2月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(水)		ミニシアター	民踊り	映写会	
2(木)		カラオケクラブ	スカッシュボール	ハンドマッサージ	
3(金)				手芸クラブ	
4(土)			歌会		園外活動
5(日)			体重測定		
6(月)		手芸クラブ		手作りおやつ会	
7(火)			輪投げ		
8(水)		防災訓練	防災訓練		
9(木)	防災訓練		映写会	防災訓練	
10(金)			手工芸	手芸クラブ	
11(土)			釣りゲーム		学童休園日
12(日)					
13(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
14(火)		三板クラブ	歌会	映写会	
15(水)		ミニシアター	民踊り		
16(木)		カラオケクラブ・美化活動	輪投げ	誕生会	
17(金)	誕生会	つつじ花見	カラオケ	手芸クラブ	
18(土)			ボウリング		園外活動
19(日)					
20(月)		お茶クラブ	手工芸	さくら花見	
21(火)			映写会	さくら花見	
22(水)	防災訓練	防災訓練	誕生会	防災訓練	
23(木)		散髪・手作りおやつ会	散髪	映写会	
24(金)		誕生会	民踊り	手芸クラブ・手作りおやつ会	
25(土)			歌会		読み聞かせ・園外活動
26(日)					
27(月)		書道クラブ	輪投げ		
28(火)		三板クラブ	ボウリング		

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

(平成二十八年十二月一日〜十二月三十一日)

〈金員の部〉

比嘉 勢津子 様(利用者)〔家族〕
 真志喜 マサ子 様(利用者)〔家族〕
 比嘉 力 様(利用者)〔家族〕
 大城 律也 様(利用者)〔家族〕
 長嶺 なおみ 様(利用者)〔家族〕
 町田 るり子 様(利用者)〔家族〕
 西銘 むつみ 様(利用者)〔家族〕
 安谷屋 百合子 様
 花城 芙佐乃 様
 久場 恵子 様

〈物品の部〉

編集後記

平成29年を迎え各地で新年を祝う中、平成30年を節目に『平成』が終わり31年(2019年)からは新しい元号が始まるとの報道がありました。

昭和64年に元号が変わり、『平成』が始まりました。『平成』は、『修文』『正化』の3つの候補から選ばれ、『内平外成(内平かに外成)』、『地平天成(地平かに天成)』から『国の内外、天地とも平和が達成される』という意味だそうです。

振り返ってみると、その定められた意味に即した時代だったのだろうかと考えさせられることも多くありました。

新しい元号に変わっても、平和な時代であってほしいと願うばかりです。

(砂川智規)